

知的財産戦略本部 検証・評価・企画委員会
産業財産権分野に関する論点

平成 28 年 3 月 28 日
内閣官房
知的財産戦略推進事務局

1. 金融機関と連携した知財活用の促進

(第二回委員会での主な意見)

- ・ 地域の場合は、信用金庫も含めた金融機関が知財ビジネスに積極的に取り組むことが有望であり、知財ビジネス評価書作成支援を含め、取組の拡大を検討してほしい。
- ・ 知財ビジネス評価書を作成できる人材の育成が重要であるとする。
- ・ 金融機関では、融資先の目利き力が問われており、潜在力を持った企業の知的財産をどう発掘し、活用させ、それを融資につなげ事業発展に結び付けるかが重要となっている。
- ・ 信用金庫で、金融機関に特化した知財のベーシックな研修があったら良いと聞いたので、検討してほしい。
- ・ 金融機関に対する知財に関する研修において、主催者として、特許庁だけではなく、金融庁が含まれていると参加意欲が増すという話なども参考に、金融機関が知財に踏み込むための施策について検討すべき。
- ・ 現在は金融機関の融資という観点での取組だが、今後はベンチャー企業に対する投資などの官民のインフラ作りにも広げて行っていただきたい。

(主な論点)

- 知財を踏まえた事業性評価の促進に向けて、知財ビジネス評価書作成やそれを活用する人材育成の支援を含め、今後どのような取組・改善が求められるか。
- 中小・ベンチャー企業へ知財の裾野を広げるという観点から、金融機関と連携して知財活用を支援・促進するために今後どのような対応策が求められるか。

2. 産学官連携機能の強化

(第二回委員会等での主な意見)

- 産学連携については、中小企業が大学と共同研究することが大事だが、どの大学のどの先生と連携を図れば良いか分からないことが問題。
- 実際に知財活用（ライセンス等）や知財をベースとした事業化について十分な経験と資質を持った人材を各種拠点等に配置すべきと考える。そういった人材は、大学の知財活用を促進するために、大学知的財産組織にも十分に配置されることが強く望まれる。
- 産学連携の評価指標については、時間がかかると思うが、定点観測してもらいたい。大学の産学連携格差は今後広がると予測しており、定点観測の結果を政策に結び付けていただきたい。
- 産学連携について、大学の評価指標については、実施料を前面に出すのをやめてもらいたい。
- 大学との共同研究契約が煩雑であるため、柔軟な対応ができる様お願いしたい。また、共同研究の成果物について、中小企業への配慮をお願いしたい。

(主な論点)

- 大学自身の知財マネジメントを改善し、産学連携機能の強化を図るために今後どのような取組が求められるか。
- 大学と産業界の知財面の連携を深化させ、産学連携をより活性化させるために産学連携の評価指標の活用と産学共同研究の円滑化を含めて、今後どのような取組が求められるか。

3. 知財システムの整備に向けた国際協力

(主な論点)

- 我が国のシステムの浸透を意識しつつ、新興国等の知財システム整備に向けた国際協力を進展させるために今後どのような取組が求められるか。